

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38307
事業名	障がい者等災害対策用品購入助成費					
評価担当課	所 属	保)障がい保健 障がい福祉課			電話番号	011-211-2936
施策名	防災への意識が向上し、誰もが冬季の災害も想定した備えを行って					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	平成30年に発生した北海道胆振東部地震では、在宅で人工呼吸器や酸素濃縮器を使用している障がいのある方や難病患者の方から、長時間の停電により人工呼吸器や酸素濃縮器が使用できなかったため、これらの医療機器を稼働させることができる発電機等の購入に係る助成等を求める声が多く寄せられた。 これを受け、停電により医療機器が使用できなくなることで生命・身体機能の維持が困難となる障がい者に対する非常用電源装置等購入費助成事業について、検討を開始し、令和元年10月から制度を開始した。
	事業内容（何を実施し）	人工呼吸器や酸素濃縮器などを使用する在宅の障がい者等に対し、非常用電源装置等の購入に係る費用の全部又は一部について助成する。 実施結果：正弦波インバーター発電機：15件、・ポータブル電源：42件、DC／ACインバーター：0件
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	障がい者等が、災害時にも身体機能の維持に必要な不可欠な医療器具の使用を継続できるようにする。
	他都市の状況	さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、神戸市、広島市、福岡市、熊本市において非常用電源装置等の購入費用の助成を実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	5,559 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度予算額	6,197 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度決算額	4,053 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和6年度予算額	11,634 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工

指標	アウトプット活動指標1	助成した人数の合計				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		78	84	57	128	52		
	↓							
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方							
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	助成基準額の増額を行った。
来年度以降の方向性	助成を継続して行うとともに、関係団体等へ協力依頼をし広報を行い制度の周知に努める。